

2010年2月28日のチリ地震津波に関するアンケート調査

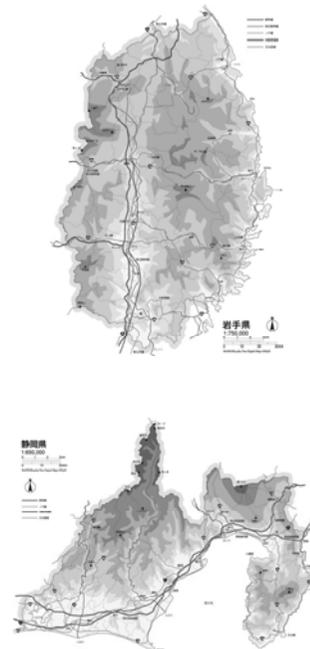
静岡大学防災総合センター
准教授 牛山素行
<http://disaster-i.net>

目的

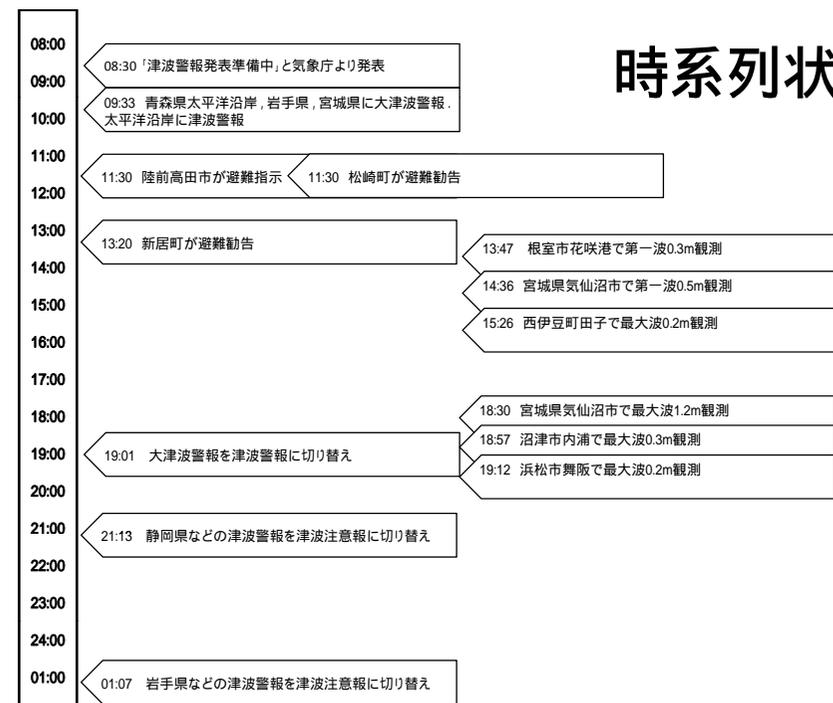
- 避難率が低いことが指摘されたが、避難所避難者だけで議論して良いのか？
 - 大津波警報地域で7.5%、津波警報地域で2.8%(消防庁)
- 津波災害に対する認識、備え、今後の意向に課題はないか？ 地域による差はないか？

調査手法

- 2010年2月28日のチリ地震津波時の行動などに関し、津波警報が発表され、避難勧告も出された地区在住者を対象に調査。
 - 岩手県陸前高田市今泉地区【今泉】
 - 自治会を通じて配布・回収。2010年3月24日、回収3月31日まで。配布数507通、回収数469通、回収率92.5%
 - 静岡県新居町向島地区【新居】
 - 自治会を通じて配布・回収。2010年3月中旬配布、3月下旬回収。配布数210通、回収数141通、回収率67.1%
 - 静岡県沼津市内浦地区【内浦】
 - 自治会を通じて配布し、郵送回収。2010年3月下旬配布、5月中旬〆切。配布数487通、回収数195通、40.0%
 - 静岡県松崎町中心部【松崎】
 - 自治会を通じて配布し、郵送回収。2010年4月上旬配布、5月中旬〆切。配布数262通、回収数103通、回収率39.3%

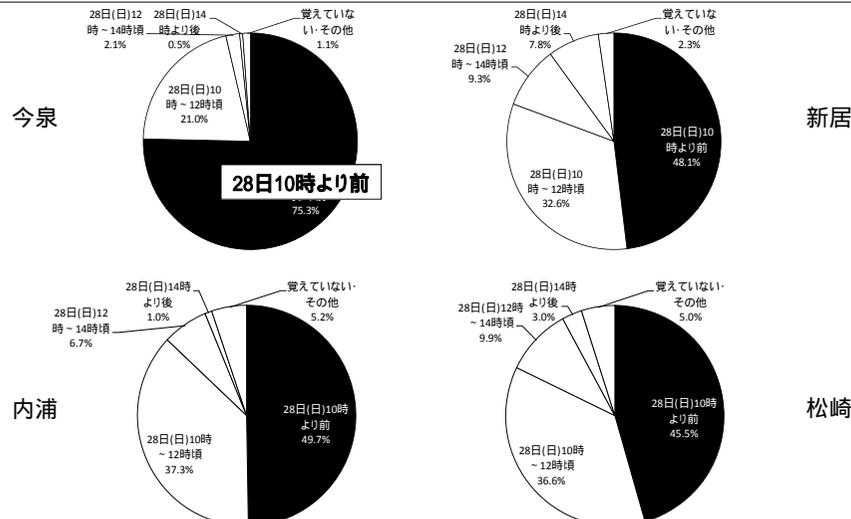


時系列状況



津波警報覚知時刻

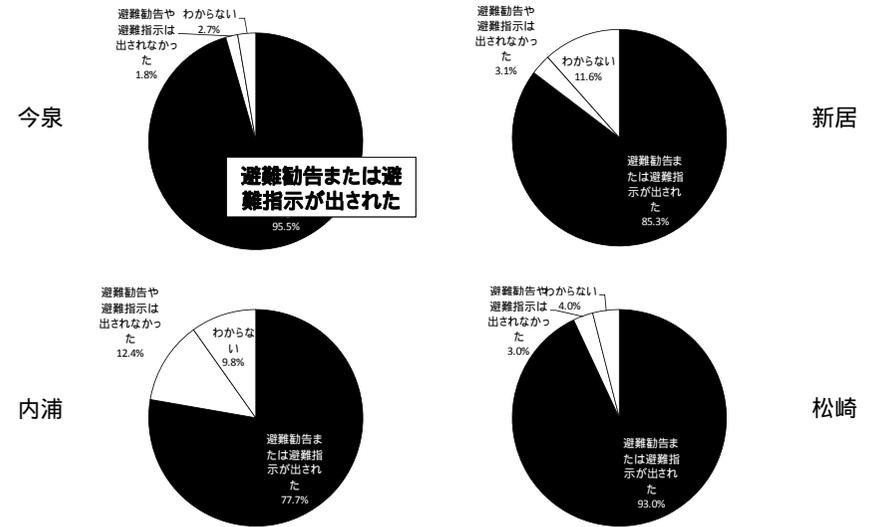
気象庁は、2月28日(日)午前9時33分に、岩手県・宮城県などには「大津波警報」、静岡県などには「津波警報」を発表しました。あなたは、このことをいつ知りましたか。



津波警報を、発表直後に覚知した人が、必ずしも多くない。静岡3地区では半数以下

避難勧告の覚知

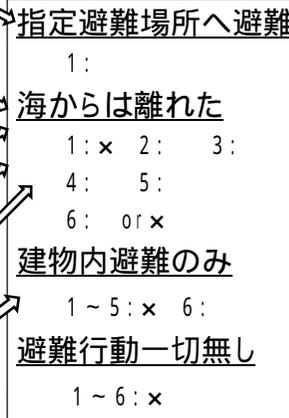
あなたがお住まいの地区では、津波警報が発表された後に市町村役場から、「避難勧告」や「避難指示」が出されましたか。調査対象地区はすべて避難指示または避難勧告の対象地区



津波警報発表中の行動

大津波警報や津波警報が発表されていた間(2月28日午前9時半頃~午後9時頃)に、あなたご自身は次のいずれかの行動をとりましたか

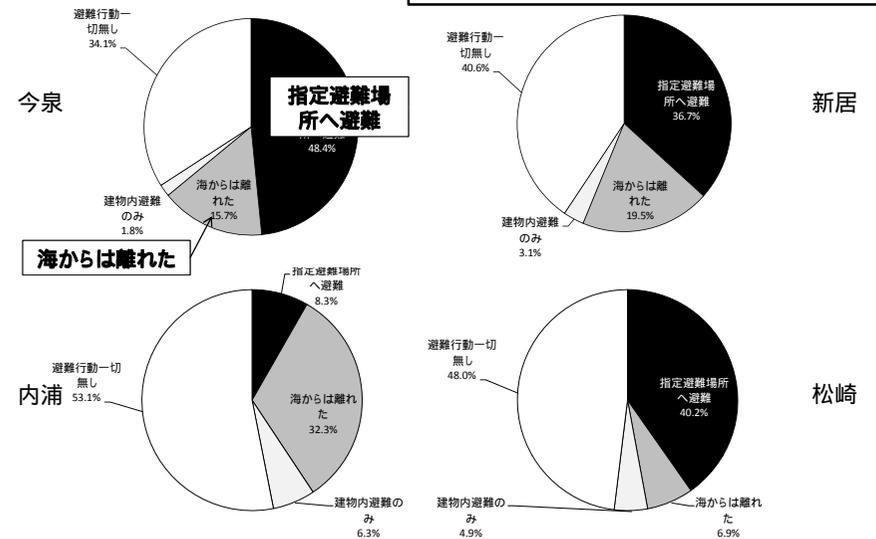
- 行政機関によって指定された避難場所への避難
- 指定された避難場所以外の高台などへの避難
- 海から離れた場所にある親戚、知人宅への避難・訪問
- その他、海から離れた場所への避難
- 避難が目的ではないが、海から離れた場所へ外出した
- 海の近くにはいたが、建物の2階以上へ移動した(またはもともと2階以上にいた)



避難行動実施率

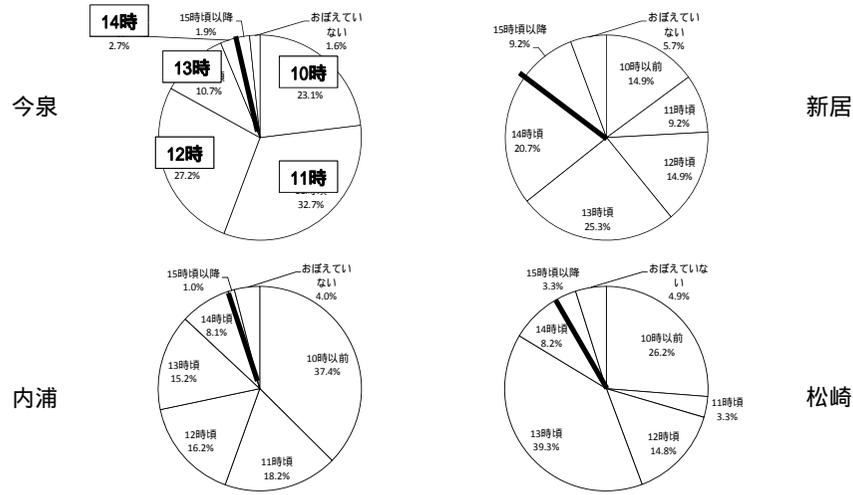
大津波警報や津波警報が発表されていた間(2月28日午前9時半頃~午後9時頃)に、あなたご自身は次のいずれかの行動をとりましたか

何らかの形で避難行動をとった人が、5~6割。



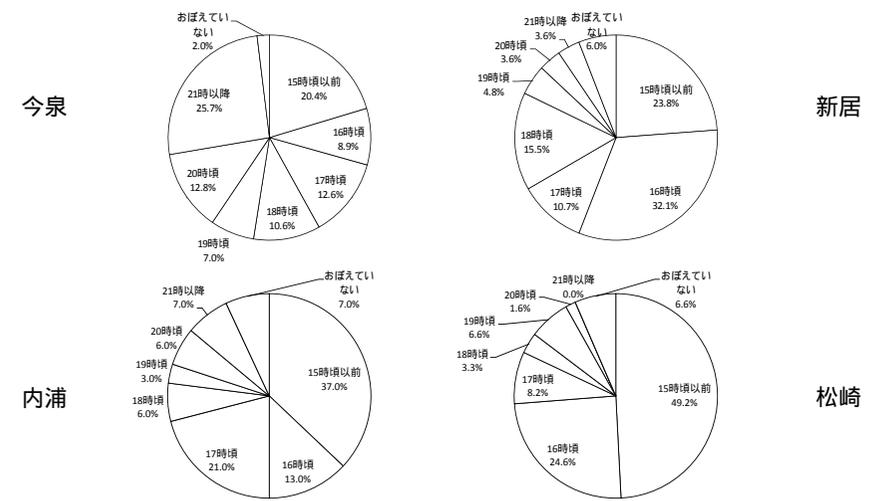
避難行動開始時刻

あなたが避難先や外出先へ向かって、自宅を出たのは、2月28日(日)の何時頃でしたか。



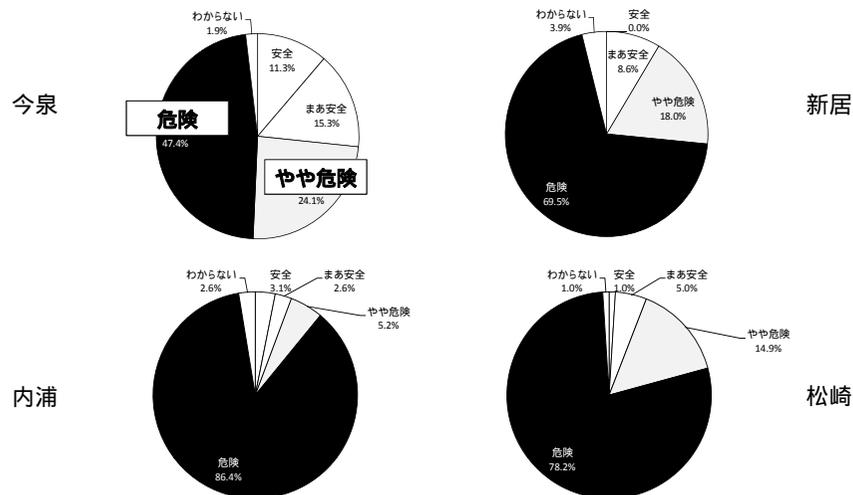
避難行動終了時刻

あなたが避難先や外出先から最終的に帰宅した時刻は、2月28日(日)の何時頃でしたか。



居住地区の災害危険度認知(津波)

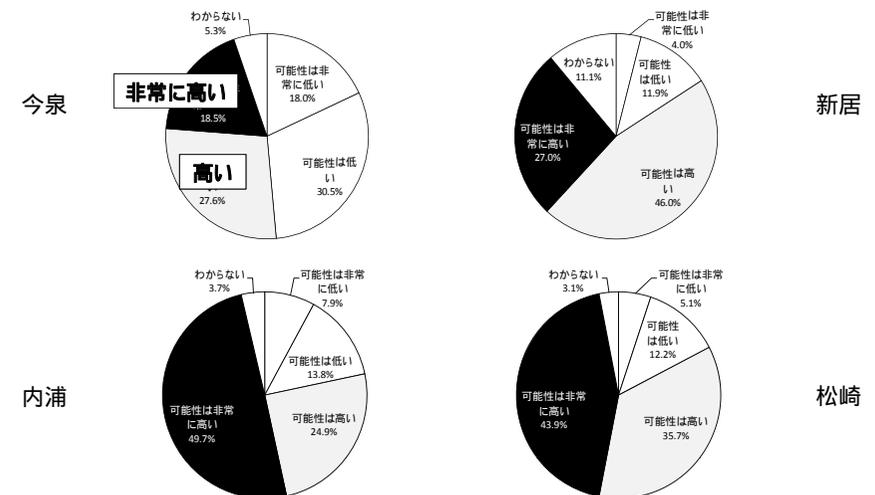
あなたがお住まいの地区は、次に挙げるような災害に対して安全だと思いますか。津波



静岡県3地区では、「危険」「やや危険」が9割以上

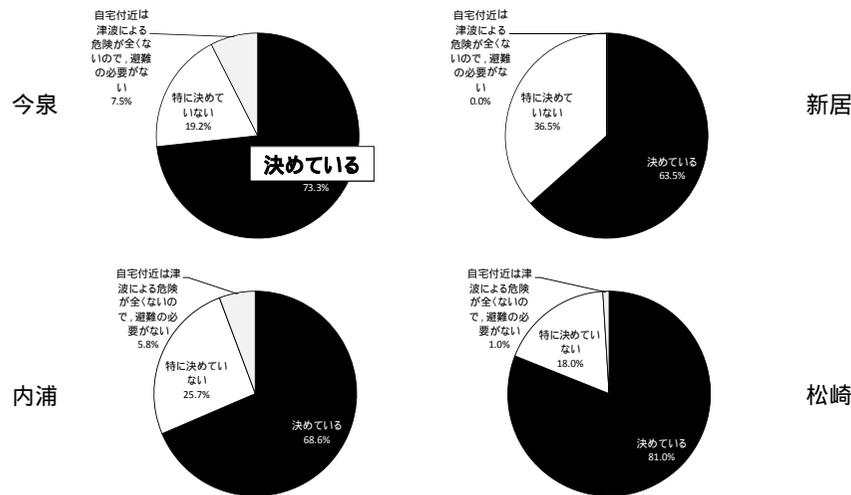
自宅の災害危険度認知(津波)

あなたが現在お住まいのご自宅は、次に挙げるような災害に襲われる可能性があると思いますか。津波によって家が浸水したり流されたりする。



津波の際の避難場所選定

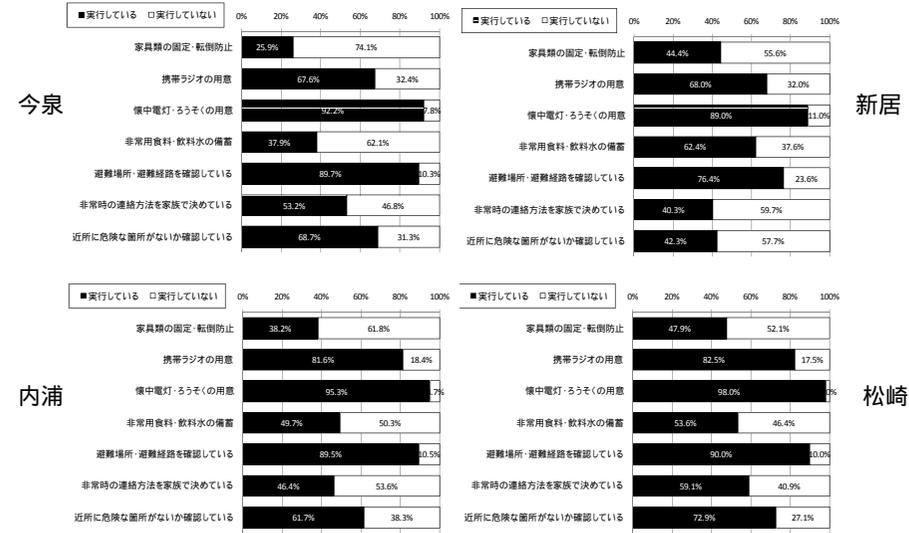
自宅付近で、津波による災害の危険が生じた場合の避難場所を決めていますか。



静岡県3地区では、津波災害「危険」「やや危険」の認知率に比べ避難場所選定率が低い

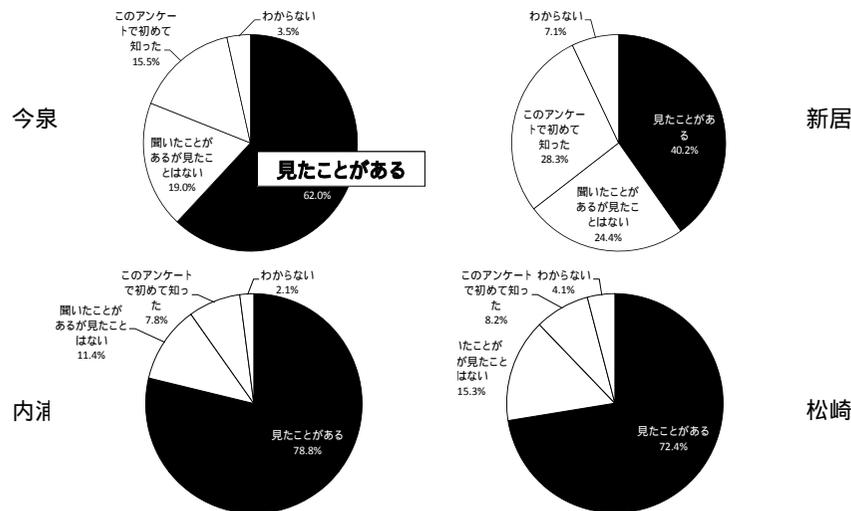
「備え」の実施率

あなたご自身や、あなたのご家庭では、自宅やその付近で、災害に備えた次のような準備をしていますか。



津波浸水予測図認知率

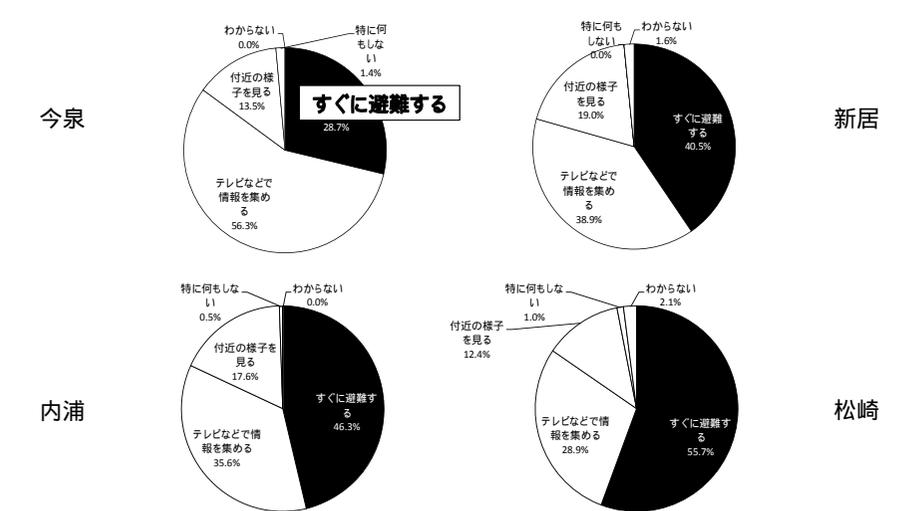
県や市町村などから「津波浸水予測図」(予想される津波が発生した際の浸水範囲や浸水する深さを色で塗り分けて地図に示したものが公表されています。あなたがお住まいの地域の「津波浸水予測図」を見たことがありますか



津波災害「危険」「やや危険」の認知率に比べ、浸水予測図認知率が低い

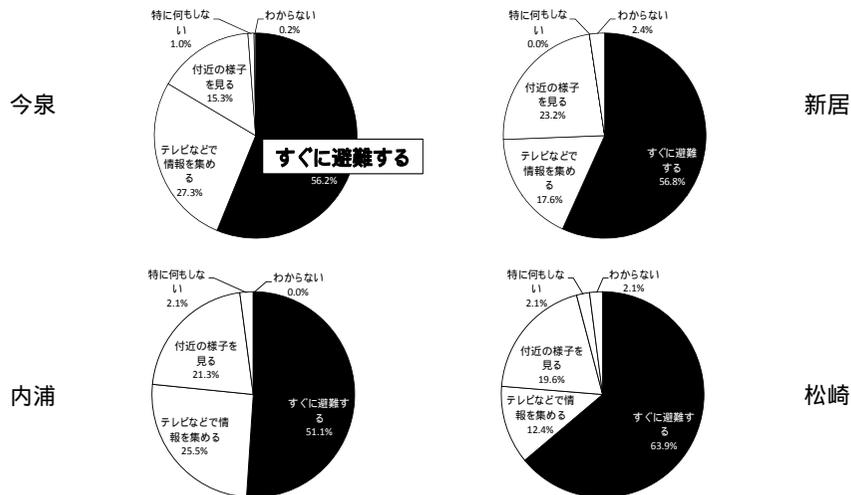
強い地震の後に津波警報

今後、ご自宅やご自宅付近にいる際に次のような状況に見舞われた場合、あなたは、まずはじめにどのような行動を取ると思いますか。



強い地震の後に避難勧告

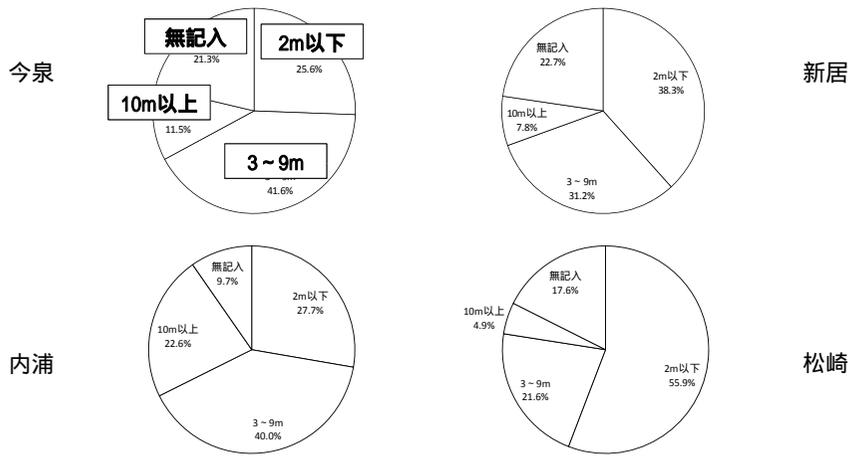
今後、ご自宅やご自宅付近にいる際に次のような状況に見舞われた場合、あなたは、まずはじめにどのような行動を取ると思いますか。



津波警報や避難勧告で「すぐに避難する」率は5～6割

避難する津波予報の高さ

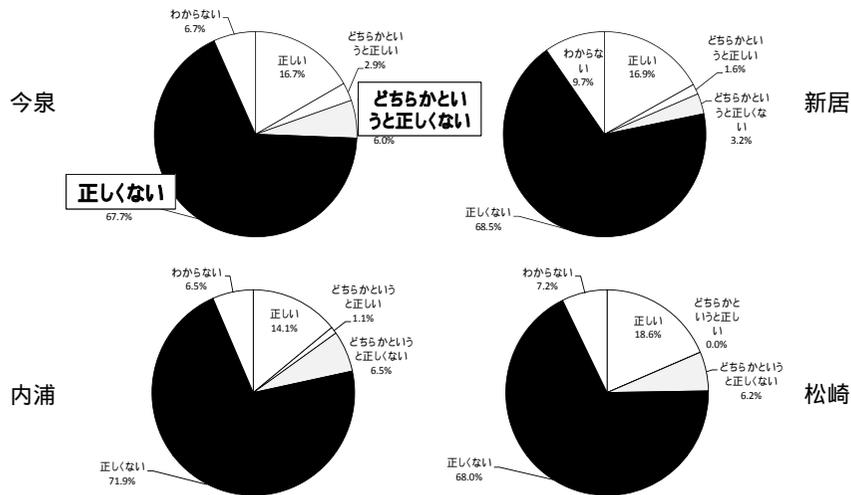
津波警報や津波注意報では、予想される津波の高さが伝えられます。自宅にいる場合、だいたい何メートルくらいの津波が予想されたら、自宅を出て高台へ避難すると思いますか。左の回答欄に、メートル単位の数字で記入してください



「10m以上」という極端な回答が1～2割も存在する

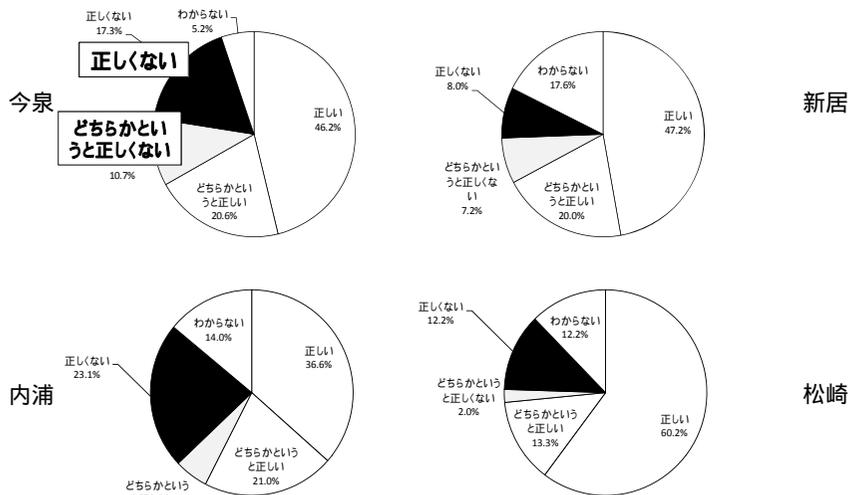
津波の速さ

次の説明について、それぞれどのように思いますか
海岸付近での津波の速さは、人が歩く速さより遅い



津波の前兆で海面低下

次の説明について、それぞれどのように思いますか
津波が来るときは前兆として海面の低下(潮が引く)が必ず起こる



津波の前に必ず海面低下があると思う人が7割前後

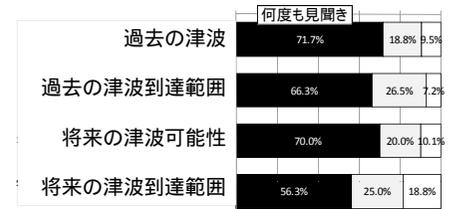
津波の前兆?

- 津波の前兆として、海面の低下があるとは限りません
- 海面の様子を見てから避難，では手遅れになります

居住地の津波災害基礎知識

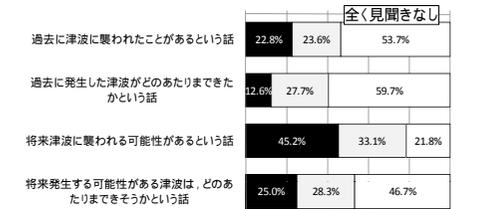
今までに、学校での教育、町の広報、家族・知人からの話、図書や新聞、インターネットなど様々な機会を通じ、お住まいの地区の津波に関連する次のような話を聞いたり、見たりしたことがありますか

今泉



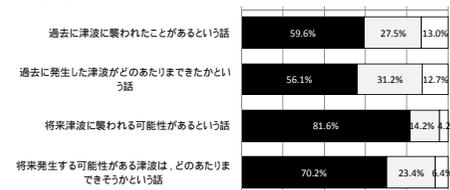
■何回も見聞きしたことがある □1, 2度見聞きしたことがある □全く見聞きしたことがない

新居



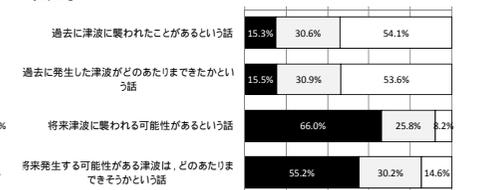
■何回も見聞きしたことがある □1, 2度見聞きしたことがある □全く見聞きしたことがない

内浦



■何回も見聞きしたことがある □1, 2度見聞きしたことがある □全く見聞きしたことがない

松崎



■何回も見聞きしたことがある □1, 2度見聞きしたことがある □全く見聞きしたことがない

主な結果

- 津波警報を、発表直後に覚知した人が、必ずしも多くない。静岡3地区では半数以下。
- 何らかの形で避難行動をとった人が、5～6割。
- 居住地の津波災害に対する危険度については、静岡県3地区では、「危険」「やや危険」が9割以上
- 静岡県3地区では、津波災害「危険」「やや危険」の認知率に比べ、避難場所を「決めている」の率が低い
- 津波災害「危険」「やや危険」の認知率に比べ、浸水予測図の認知率が低い
- 津波警報や避難勧告で「すぐに避難する」率は5～6割
- 避難する津波予報の高さとして、「10m以上」という極端な回答が1～2割も存在する
- 津波の前兆として必ず海面低下があると考える人が7割前後

津波災害では避難が被害軽減に直結

他の災害では避難が必ずしも最重要・最善とは限らない

- 津波
 - 一刻も早く避難しなければならない
 - 避難経路、避難場所の熟知が役立つ
- 洪水・土砂災害
 - 危険性のある場所では早期避難が必要
 - 開始タイミングや避難先の判断が非常に難しい
 - 切迫時は無理な避難の見合わせも重要
 - 状況進展により大きく変化
- 地震
 - 避難するのは「自宅が住めなくなった時」
 - タイミングや避難先に迷うことは少ない
 - 一刻を争って避難するケースは??
 - 火災発生時などは必要